

2 フミン物質とは

フミン物質とは

フミン物質は動植物が生命を失った後の有機質のものが微生物や無機質等の影響を受けながら、分解、発酵、合成、還元を繰り返しながら堆積した土壌の中の成分であり、アミノ酸、酵素、ビタミン、ミネラルなどが複合した有機化合物で、地球上の電子の供給源でもある不思議な物質です。現在、フミン物質については国際腐植物質学会、日本腐植物質研究会、国公立の大学や研究機関、数多くの企業研究が進められ様々な応用例が報告されています。

飲用を可能にする特殊な方法でフミン物質成分を抽出したフミン物質抽出液は、強酸性にもかかわらず、耐腐食性と抗酸化性を持ち合わせた非常にまれにみる液体です。

特に、フミン物質中のフルボ酸は生理活性作用に優れ、飲用した場合でも経皮吸収させた場合でも顕著に効果を発揮します。

私たちは今、豊かな高度文明の中に生きています。その一方で大気汚染をはじめ、海、山、川、大地など私たちを取り巻く環境はどんどん汚染され、さらに生活の中へ入りこみ、環境ホルモン等の問題を起すなど生態系の秩序を益々乱しています。地球の大地から生まれた「フミン物質」は、世界が注目する、まさに21世紀最高の天然資源なのです。

古代植物の堆積層

地質学的にみて、およそ数百万から数千万年以上前に、草炭ではなく純粋な葉緑素(古代の海藻・藻類・植物・魚介類など)が地下深く埋没され、数百万年もの長い間海底から隆起して安定を保ちつつ腐朽化を行なった地質学的にも極めて希少な土壌(古代植物の堆積層=腐植土壌)であり、主にカルシウムとマグネシウムで飽和され永久に安定しており、断面内で移動せず、世界的にもまれな土壌の中に含まれているのがフミン物質です。

野菜類がミネラル不足になってしまします。

ここで必要なのは、フルボ酸、ミネラルを豊富に含んだ土であり、古代植物の腐植土の堆積物です。

フルボ酸がミネラルや栄養素をキレート結合して人間の細胞内に誘導しています。

そして細胞内に蓄積した有害物質、重金属等をキレート結合して体外に排出してくれます。

フルボ酸には不思議な力が宿っています。まだまだ研究段階ですが色々なことが解明されてきています。更なる期待が高まります。



陸上進化した植物は、ミネラルをイオン状態で吸収する必要がありません。そこで、植物は工夫をしました。その工夫とは**フルボ酸の光合成**です。葉緑素の多い葉で合成されたフルボ酸は、そのまま植物の根に送られます。植物は、根からフルボ酸を出し、土や岩石の合成物となっているミネラルを溶かすと考えられています。すなわち、**ミネラルのイオン化**です。こうして、植物は生命活動に必要な栄養分を吸収しているのです。

そこで、私たち人間はミネラルをどのように確保しているのでしょうか。私たちが必要とするミネラルも植物のようにイオン化してなければなりません。だからと言って、海水を飲んだり、ミネラル分の多い岩石や石を消化しないし、化合物になっているミネラルをイオン化することは出来ません。結局、人間は植物を食べてイオン化したミネラルを確保しているのです。地球上の生命活動は、それぞれが役割を果たし、うまくつながりを持っているのです。

近年、化学肥料による農業生産が続いた結果、田畑の土地がミネラル不足になっています。土地がミネラル不足になれば、植物である

3 フルボ酸でエイジングケア

数千年以上の太古の時代に海底で形成された特殊な堆積中の成分を特殊な製法で抽出した天然土壌エキス：フルボ酸エキス。**フルボ酸**は自然界(特に堆積土壌)にしか存在しておらず、このフルボ酸エキス中の豊富なミネラルはアミノ酸と分子結合した状態で存在しています。

従って分子レベルでキレート化(結合・排出化)しているため、経皮吸収に優れ、特にCa、Mg、Naのバランス比率は自然界ならではの構成であり、エキス中のフルボ酸は分子量が小さく吸収性をさらに強力にし、細胞層まで導きます。それによって細胞の酵素活性を促し基礎代謝をパワーアップします。

フルボ酸は高い生理活性作用があり、天然物質としては稀な低分子です。また、アミノ酸とミネラル結合しているため、ミネラルの吸収を安易に行います。フルボ酸は体内の有害物質の無毒化やイオンのバランス調節、総合ミネラルの吸収などホメオスタシスの原点となる天然物質です。マイナスイオンを多量に発生することから、

「飲むマイナスイオン」とも呼ばれています。エイジングケアが叫ばれる昨今、キレートミネラルであるフルボ酸はエイジングケアにおいて特に重要な働きを行います。体の中からエイジングケアをはじめましょう。

フルボ酸エキスは、**強酸性**ですが希釈しなくてもそのまま飲用できます。梅干しの酸性と同様、体内に入るとアルカリ性に変化し、腸内の有害菌の働きを抑え、乳酸菌やビフィズス菌を元気にすることが確認されています。天然成分の酵素・アミノ酸・ビタミン・ミネラル(微量元素を含む)未確認の有効成分の相乗効果によって人工の化学合成品からは予想もできない効果が見られ、美容効果などにも注目が集まっています。

また、微生物がつくる多くの**酵素**は、消化機能や腸内環境、腸内発酵を助けます。その結果、栄養の消化吸収が飛躍的に向上します。フルボ酸にも天然の酵素が含まれていますので腸内環境維持も期待できそうですね。

4 宇宙環境と自然の法則

さて、生物の発生の源は海。海と言えば、水。なんとその分子量も「18」です。

人間がこの世に生まれるときは満潮とともに生まれ、引潮とともにこの世を去ると言われています。このように私達人間をはじめ生物は自然の大法則、または宇宙の法則によって生かされ守られて生きていくことが出来るのです。人間は自分の力で生きているのではなく、大自然との調和によって生かされているのです。

近代科学の目覚ましい発展は利便性の追求や生産性の向上に大きな成果をもたらせました。しかし、豊かな現代生きる一方で環境汚染、環境ホルモン問題(生態系破壊物質)はますます進行し、生態系の異変が多発しています。それらは人間本来の免疫機能を狂わせ異常体質を作ってしまったのです。

汚れた海、川で育つ魚、やせた土地、化学肥料の畑から健康な野菜、果物が出来るはずがないのです。

地球が生まれて46億年…。

大宇宙の銀河系に属する太陽系では、太陽を中心に水・金・地・火・木・土・天・海・冥の九つの惑星が万有引力の法則に基づいて、自転し、公転しながら付かず離れず調和の世界を形成しております。この大自然の天体の周期等が人体に関わる数値と一致していることは誠にナゾとしか言いようがありません。

地球の自転数 365回

体温 36・5度

月の自転数 28回

女性の月経周期 28回

海の波の周期は1分間に18回…。

人の呼吸も1分間に18回…。

18の倍36は体温になり36の倍72

でこれは1分間の平均脈拍数…。

72に体温の36を足した108は元素

の数。

108は除夜の鐘の数でそれは煩悩の数でもあります。

1分間の平均脈拍数である72は最低血圧の目安でもあり、さらに72の倍144は血圧の最高基準値です。